

令和8年度香川県障害者ピアサポート研修  
(基礎研修・専門研修) 実施要領

1 研修の目的

自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験をいかしながら、他の障害や疾病のある障害者の支援を行うピアサポーター及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図り、障害福祉サービス等における質の高いピアサポート活動を支援することを目的に、香川県障害者ピアサポート研修（基礎研修・専門研修）を実施する。

2 主 催 香川県

3 日 時

※本研修は一体的に受講されることを想定しておりますので、原則2つをセットで受講してください。

| 基礎研修 |                          |
|------|--------------------------|
| 一日目  | 令和8年12月14日(月)10:00～15:05 |
| 二日目  | 15日(火)10:00～16:05        |
| 専門研修 |                          |
| 一日目  | 令和9年1月18日(月)10:00～15:05  |
| 二日目  | 19日(火)10:00～15:35        |

5 会 場 高松市ふれあい福祉センター勝賀 大会議室（香川県高松市香西南町476―1）

6 受講対象者

事業所単位での申込みとします。「当事者」「協働支援者」の2人1組で申込みください。

※原則、香川県内の事業所の方又は香川県内に居住する方に限ります。

(1) 当事者（下記ア・イすべて満たす者）

ア 下記いずれかに該当する者、または現在該当しないが以前該当した者  
身体障害者、知的障害者、精神障害者（発達障害含む）高次脳機能障害者、難病患者

イ 下記いずれかの指定を受けた事業所で雇用契約に基づき雇用されている、今後雇用契約を結ぶ予定の事業所が決まっている者、または今後雇用が見込まれる者（雇用形態は常勤・非常勤問わない）

自立生活援助、計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、共同生活援助、自立訓練（機能訓練）自立訓練（生活訓練）

※ 共同生活援助のうち、日中サービス支援型は除きます。

※ 自立訓練のうち、宿泊型自立訓練は除きます。

(2) 協働支援者（下記ア～ウすべて満たす者）

ア (1) 当事者が所属（見込み）する事業所の職員であること（常勤・非常勤は問わない）

イ (1) 当事者と協働して支援を行う職員であり、ピアサポーターによる支援体制の構築に中心的な役割を担う予定である者（管理者、サービス管理責任者、相談支援専門員など）

ウ 就労継続支援B型の職員の場合、在籍する事業所が就労継続支援B型サービス費区分はⅣ・Ⅴ・Ⅵを算定（又は今後予定）していること

7 定 員  
40名（当事者20名、協働支援者20名）

8 研修内容  
別紙のとおり

9 資料代  
基礎研修 4,000 円、専門研修 4,000 円  
受講決定後、事業所宛てに納入通知書を郵送します。

10 受講申込み手続き

（1）申込受付期間  
申込受付開始日から令和8年10月23日（金）まで

（2）申込方法  
受講申込書（様式第1号）に、必要事項を記入の上、事務局（下記13記載）までメールにてお申し込みください。

【注意事項】

- 1 FAX申込みは受け付けません。
- 2 修了者に修了証書を交付しますので、受講者の氏名については、誤字・脱字のないように注意してください。
- 3 申込人数は、一事業所につき、上記6受講対象者の（1）1名、（2）1名計2名とし、ペアでお申し込みください。  
また、一法人から複数の事業所が申し込む場合は、優先順位を記載してください。

11 受講者の決定及び通知  
参加申込書記載の担当者に対し、11月13日（金）までに受講の可否を電子メールで送付します。  
申込者数が定員を超える場合は、受講できないこともありますのでご了承ください。

12 修了証書の交付  
所定カリキュラムの全科目を修了した者に修了証書を交付します。  
受講態度の著しい不良等、県が適当でないと判断した者には修了証書の交付をしない場合があります。

13 申込・問合せ先  
香川県健康福祉部障害福祉課 精神保健・人材育成グループ  
TEL 087-832-3294  
FAX 087-806-0240  
E-Mail [tel365@pref.kagawa.lg.jp](mailto:tel365@pref.kagawa.lg.jp)

## 令和8年度香川県障害者ピアサポート研修

## 基礎研修カリキュラム（2日間）

| 科目名              | 時間数   | 内容                                  |
|------------------|-------|-------------------------------------|
| （1日目）            |       |                                     |
| 1 ピアサポートの理解      | 30 分  | ・障害領域ごとの歴史や背景<br>・障害領域ごとの視点         |
| 2 演習①            | 60 分  | ・講義「ピアサポートの理解」の振り返り、<br>気づきの共有      |
| 3 ピアサポートの実際・事例   | 70 分  | ・障害領域ごとのピアサポートの実践                   |
| 4 演習②            | 40 分  | ・講義「ピアサポートの実際・事例」の振り返り、<br>気づきの共有   |
| （2日目）            |       |                                     |
| 5 コミュニケーションの基本   | 40 分  | ・ピアサポートの視点を取り入れたコミュニケーション技法や経験の共有   |
| 6 演習③            | 60 分  | ・講義「コミュニケーションの基本」の振り返り、<br>気づきの共有   |
| 7 障害福祉サービスの基礎と実際 | 40 分  | ・障害福祉施策の歴史<br>・障害福祉施策の仕組み           |
| 8 演習④            | 20 分  | ・講義「障害福祉サービスの基礎と実際」<br>の振り返り、気づきの共有 |
| 9 ピアサポートの専門性     | 30 分  | ・ピアサポートの具体的な専門性<br>・倫理と守秘義務         |
| 10 演習⑤           | 50 分  | ・講義「ピアサポートの専門性」の振り返り、<br>気づきの共有     |
| 計                | 440 分 |                                     |

専門研修カリキュラム（２日間）

| 科目名                           | 時間数   | 内容                                        |
|-------------------------------|-------|-------------------------------------------|
| （１日目）                         |       |                                           |
| 1 基礎研修の振り返り                   | 30 分  | ・基礎研修の振り返り                                |
| 2 ピアサポーターの基礎と専門性              | 40 分  | ・障害特性に応じた専門性                              |
| 3 演習①                         | 60 分  | ・講義「ピアサポーターの基礎と専門性」の振り返り、気づきの共有           |
| 4 ピアサポートの専門性の活用               | 40 分  | ・障害特性に応じたピアサポートの専門性を活かすための視点              |
| 5 演習②                         | 30 分  | ・講義「ピアサポートの専門性の活用」の振り返り、気づきの共有            |
| 6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際(障害者) | 各40 分 | ・関連法、関連施策                                 |
| 6 ピアサポートを活用する技術と仕組み(事業所)      |       | ・現場におけるピアサポートの活用方法                        |
| 7 演習③(障害者)                    | 各40 分 | ・講義「関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際」の振り返り、気づきの共有   |
| 7 演習③(事業所)                    |       | ・講義「ピアサポートを活用する技術と仕組み」の振り返り、気づきの共有        |
| 8 演習④                         | 20 分  | ・障害者、事業所職員別講義及び演習内容についての共有                |
| （２日目）                         |       |                                           |
| 9 ピアサポーターとしての働き方(障害者)         | 各30 分 | ・労働法規                                     |
| 9 ピアサポーターを活かす雇用(事業所)          |       | ・ピアサポーターを雇用し、協働 する上での留意点                  |
| 10 演習⑤(障害者)                   | 各40 分 | ・講義「ピアサポーターとしての働き方」の振り返り、気づきの共有           |
| 10 演習⑤(事業所)                   |       | ・講義「ピアサポーターを活かす雇用」の振り返り、気づきの共有            |
| 11 セルフマネジメントとバウンダリー           | 30 分  | ・ピアサポーターが葛藤しやすい状況<br>・病気や障害を抱えて働く上でのセルフケア |
| 12 演習⑥                        | 40 分  | ・講義「セルフマネジメントとバウンダリー」の振り返り、気づきの共有         |
| 13 チームアプローチ                   | 40 分  | ・所属機関(チーム)におけるピアサポーターの役割と 協働 における留意点      |
| 14 演習⑦                        | 60 分  | ・講義「チームアプローチ」の振り返り、気づきの共有                 |
| 計                             | 540 分 |                                           |